

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.11.04-11.15

*記事は東京発行・最終版

CHINA

11月4日(月)
100人規模の訪中団
日中経済協会 / 18日に派遣
日中経済協会は、100人規模の訪中団を18日に派遣する。張会長は、日中の経済交流が「着実に回復しつつある」との認識。「日中経済の相互依存・補完関係で意見交換したい」。(2面)

11月6日(水)
ホンダ、広州に開発新会社
4輪車 / 現地化進める
ホンダは、中国でホンダブランドの4輪車の開発を強化するため、広州市に新会社「本田技研科技(中国)」を設立した。現地開発や購買企画、生産企画の機能を新会社へ機能を移す。(6面)

日軽金、アルミ地金合併
電子向け高純度品の需要増
日本軽金属は、中国にアルミニウム高純度地金製造・販売の合併会社を設立する。電子産業の発展に伴い原料となるアルミ高純度地金の需要が増加しており、成長を取り込む。(15面)

日通、保税物流で新会社
重慶 / EMS進出に対応
日本通運は、香港法人の香港日本通運が重慶市の西永総合保税区に保税物流に対応した新会社「重慶民生日通西永物流」を設立した。EMS企業の進出に対応する。(17面)

中国の国有企業に初の投資
日本アジア投資
日本アジア投資は、運営するファンドを通じ、中国の国有企業で医療向けプラスチック製品の製造販売「天津市塑料研究所」に投資した。投資規模は数億円。中国国有企業への投資は初めて。(19面)



11月7日(木)
河西工業、車用内装部品で合併
湖北省 / インフィニティ向け
河西工業は、湖北省に自動車用内装部品を生産する合併会社を設立する。日産自動車が2014年から東風日産襄陽工場で生産を予定する高級車ブランド「インフィニティ」向けに生産する。(7面)

医療用品、中国仕様を開発
マニー / 価格も抑える
マニーは、中国事業戦略を見直す。現在は日本仕様の医科歯科製品を展開しているが、現地ニーズを反映した製品を開発する。パッケージの簡素化などにより、価格も抑える。(12面)

日通、現地代金立て替え
中国・インドネシア / 国際物流取引
日本通運は、子会社と、国際物流取引の品代金立替サービスを始めた。海外に進出企業の資金調達の負担を低減する。インドネシア、中国向けの輸送を対象にサービスを提供。(15面)

11月8日(金)
豊田織機、コンプレッサー工場
カーエアコン用 / 年150万台
豊田自動織機は、昆山市にカーエアコン用コンプレッサーの新工場を建設する。約58億円投資。2014年10月に稼働。当初の生産能力は年間50万台。2016年には同150万台に増やす。(6面)

11月12日(火)
清掃用機器、中国増産
アクアシステム / タイに合併
アクアシステムは、清掃用機器でアジア市場の本格開拓に乗り出す。中国拠点の増強やタイでの合併設立などで生産体制や販路を整備、アジアでの需要喚起や潜在需要を積極開拓する。(7面)

11月13日(水)
日清紡HD、ブレーキ部品合併
独部品大手コンティネンタル / 揚州市
日清紡HDは、独部品大手コンティネンタルの中国子会社と合併で、江蘇省揚州市に電子制御ブレーキシステム用部品

を製造する会社を12月に設立する。主要部品のバルブブロックを製造。(5面)

「武漢中心」高速エレベーター
三菱電機 / 2台受注
三菱電機は、湖北省武漢市の超高層ビル「武漢中心」(高さ438m、地上88階建て)向けに分速600mの高速エレベーター2台を含む合計85台の昇降機を受注した。(13面)

インフル迅速診断キット発売
デンカ生研 / 8分で判定
電気化学工業の全額出資子会社・デンカ生研は、中国でインフルエンザウィルス迅速診断キットを12月をめどに発売する。AとBの両型のウィルス抗原を約8分で検出判定できる。(16面)

2年ぶりに環黄海交流会
日中韓 / 観光・物流で提案
九州経済国際化推進機構は、日中韓3カ国で「環黄海経済・技術交流会議」を2年ぶりに開いた。産学官から約200人が参加。人材や観光、物流などについて提案した。(26面)

11月14日(木)
パナソニック、TV販売網絞る
中国 = 「生活館」 / 米=量販最大手
パナソニックは、赤字の中国・米国のテレビ事業について、販売チャンネルを絞り込む。米国は家電量販最大手のベスト・バイなどに、中国はパナソニック専門店「生活館」を中心に再編。(1面)

日中韓で知財審判研究
枠組み2つ / 実務者会合
特許庁は、日本と中国の2国間、日中と韓国の3カ国間の2つの枠組みで、特許など企業の知的財産権の行使に必要な審判制度を研究する実務者会合を2014年に創設する。(2面)

星和電機、内モンゴル撤退
道路照明灯 / 子会社を売却
星和電機は、中国の内モンゴル自治区に設立した、道路照明灯子会社の星和電機(包頭)をこのほど現地企業に売却した。日中関係の悪化で公共事業を受注できず、工場建設を中断。(3面)

サンテックパワー、再建決まる
江蘇順風グループ入り
太陽電池世界大手・中国サンテックパワーHDの再建が決まった。無錫サンテックパワーは同業の江蘇順風風光電科技の傘下入り。会社更生法を申請していた。日本法人も。(3面)

市場経済化や税制改正を加速
3中総会が開幕
中国共産党の第3回総会は、市場経済化の加速や税制改正を進め、重要な改革について「2020年までに成果を示す」との目標を決めて閉幕した。国有企業を中心に民営企業の育成促す。(時事=3面)

日本勢 - 自動車関連に照準
金型・金属加工・プラ・包装展
華南地域最大の展示会「中国東莞国際金型・金属加工・プラスチック・包装展」は、人件費高騰を背景に自動化対応を強化し、好調な自動車関連に狙いを定める日系企業が目立つ。(8面)



建機、7カ月連続プラス
コマツ79.5%増 / 日立建機31.5%増
建設機械メーカーの10月の中国販売(6ト以上の油圧ショベル)は、コマツが前年同月比79.5%増で5カ月連続、日立建機が同31.5%増と7カ月連続でプラス成長となった。(8面)

11月15日(金)
トヨタ、中国でHV電池パック
年産能力11万台分 / 合併会社
トヨタ自動車は、中国でハイブリッド車向け電池パックを生産する合併会社を

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
今回は12月2日(月)に掲載します。

設立した。年産能力がHV11万台分のニッケル水素電池パック組立工場を2015年に稼働させる。(5面)

中国産HV部品、一部を現調
トヨタ / 電池・インバーター
トヨタ自動車は、2015年に発売予定の中国開発・生産のハイブリッド車で、電池とインバーター、トランスアクスルを現地調達する。一気トヨタ、广汽トヨタの両合併で生産販売する。(5面)

メッキ薬品、中国を開拓
日本高純度化学 / スマホ向け一括提供
日本高純度化学は、中国でスマートフォンなどの回路基板組み立て市場開拓のため、金とニッケルの両メッキ薬品を一括提供を始める。現地の基板組み立て企業にとって品質管理が容易に。(13面)

上海で医療材料販売
三菱商事 / 医薬品卸最大手と合併
三菱商事は、中国の医薬品卸最大手・国藥控股股份有限公司と合併で、上海市に医療材料流通会社「国藥控股菱商医院管理服務」を設立した。医材一元管理 / ウハウを導入。(14面)

TELOP
中国新車販売、大幅増加
日系5社 / 10月(6日6面)
モーターボンプのサービス拠点
帝国電機 / 成都市(14日9面)

ひと
富裕層以外も
「中国についてはいろいろな意味で底上げしなければならない」とし、整備の力以外に販売力も高める必要があると、富士重工取締役専務執行役員の池田智彦さん。技術と接客の両面でテコ入れを図ることで「富裕層以外の顧客もつかまえて行く」。(14日=7面)

ASIA

11月4日(月)
タイに切削加工会社
テクノアソシエ / 現地会社事業買収
テクノアソシエは、タイにある現地資本会社の切削事業部門を買収した。自動車部品の切削加工会社を設立したに伴い、既存の工場設備と人員を引き継ぐ。東南アジアの中核製造拠点に。(5面)

マツダ、台湾で自社販売
フォードから引き継ぎ
マツダは、台湾でブランドと販売体制を強化するため、販売統括会社を設立する。マツダ車の販売を担っていた米フォード・モーター系の会社から、輸入・販売やサービスを引き継ぐ。(5面)

イビデン、マレーシア第2工場
携帯端末配線板 / 月産2倍
イビデンは、携帯端末用高密度プリント配線板を生産するマレーシアの第2工場棟を2014年9月に稼働する。携帯電話の「LTE」普及に合わせ、月産2倍の4万平方mに引き上げる。(7面)

ベトナム - 投資環境整う
レンタル工場新設 / インフラ拡充
ベトナムで、海外企業からの投資を呼び込む動きが活発になってきている。中小企業向けのレンタル工場の新規開設・拡張に加えて、インフラ整備などの環境改善に向けた動きも進む。(19面)



11月5日(火)
インドの人材育成機関で成果
トヨタ / 体質改善進む
トヨタ自動車のインド製販会社の体質改善が進んでいる。設立した技能道場や、トヨタ工業技術学園などの効果が多面的成果に表れている。トヨタウェイの実現を目指す。(5面)

マイクロエミ、韓国に参入
小型元素分析器 / まず大学・研究機関
マイクロエミッションは、主力製品である小型元素分析器の海外販売体制を拡充する。ブラジル、米国に加え韓国にも

販売代理店を設ける。大学や公的研究機関を開拓する。(7面)
フタバ産業、ベトナム工場
富士ゼロックス向け / コピー機部品
フタバ産業は、ベトナム・ハイフォン市にコピー機部品工場を建設し、2014年11月に稼働する。投資額は25億円。富士ゼロックスの現地工場に供給する。海外工場は中国に次ぎ2カ所目。(9面)

JFE商事、タイ増産
鋼材加工2倍 / 年18万ト
JFE商事は、タイ・ラヨーン県にある鋼材加工センターの能力を増強する。新規設備を月内に稼働する。加工能力は2倍の年産17万18万ト。自動車用鋼板需要を獲得する。(11面)

11月6日(水)
住商、アルミ製錬で追加出資
マレーシア / 車関連・飲料缶
住友商事は、マレーシアのアルミニウム押出製品大手プレスメタルベルハットのアルミ製錬事業に追加出資する。アジアで自動車関連や飲料缶用途向け取引拡大につなげる。(3面)

韓国の治験施設支援機関を買収
リニカル / グローバル治験
リニカルは、韓国の医薬品開発業務受託機関ビープロ・コリアを買収する。治験施設支援機関のビープロジェクトから全株式を買収する。米国・台湾・韓国の子会社でグローバル治験に対応。(3面)

11月7日(木)
アジアで標準化展開
モーションネットワーク / 支部開設
MECHATROLINK協会は、FA機器などのモーションネットワーク標準化の活動をアジア全域で展開する。11月に台湾支部を置く。インド、シンガポール、タイでも支部を開設する予定。(9面)

タイ都市鉄道のメンテ受注
JR東日本 / 信号・軌道10年間
JR東日本は、タイ・バンコクの都市鉄道路線「パープルライン」向けに鉄道車両や地上設備のメンテナンスなどの鉄道システムを供給する。信号や軌道などに10年間のメンテナンスを実施。(14面)

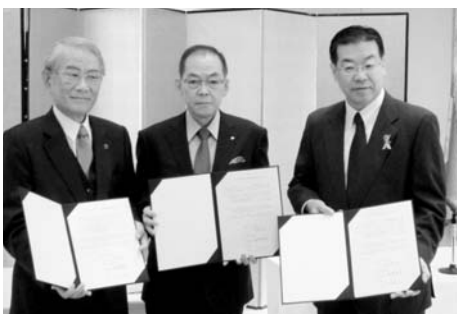
台湾コンテナターミナル株取得
日本郵船 / 高雄港
日本郵船は、台湾の高雄港にあるコンテナターミナルを運営するカミオン・コンテナターミナルの株式12.5%を取得する。日本郵船は高雄港へのコンテナ船寄港も視野に。(15面)

11月8日(金)
旭硝子、ベトナムPMP C買収
塩ビ樹脂 / 現地シェア3割
旭硝子は、ベトナムの塩ビ事業会社フ

ーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ(PMPC)を買収する。買収額は非公表。PMPCはベトナムの塩ビ樹脂で3割を超えるシェアを持つ。(17面)

ジャカルタ首都圏鉄道に車両
JR東日本 / 保守の技術支援
JR東日本は、JR埼京線で使われた車両をインドネシアの鉄道事業者であるジャカルタ首都圏鉄道に譲渡するとともに、技術者を派遣して車両の保守に関する技術支援を実施する。(19面)

ベトナム留学生、京大受け入れ
京都銀行は寮を提供
京都大学、京都銀行、京都府は、ベトナムとの国際交流促進に関する覚書を締結した。ベトナムからの京都大学への留学生受け入れについて連携。京都銀行は留学生が滞する寮を提供。(30面)



11月12日(火)
制御盤、仕様・品質を保証
JESCO / ベトナム企業と提携
JESCOホールディングスは、ベトナムの産業用制御盤最大手・ハイナムと業務提携した。発注元の日本のゼネコンやプラントメーカーに仕様や品質を保証する形で技術支援する。(1面)

不二製油、生産を停止
フィリピン台風被害
業務用食品メーカーの不二製油は、フィリピンのレイテ島にある工場が台風を襲った台風30号で壊壊し、生産を全面停止した。約100人いる現地従業員の一部の安否が不明。(3面)

ベトナム油田権益、5年間延長
JX日鉱日石開発
JX日鉱日石開発は、46.5%の権益を持つベトナムの油田権益期間の延長が同国政府に認められた。南部の海底にあるランドン油田の権益について、2020年4月から5年間の延長。(3面)

シンガポール製旋盤を輸入
ヤマザキマザック
ヤマザキマザックは、小型CNC旋盤「クイックターンプリモス」を発売した。シンガポール工場で生産して輸入する。所要床面積を約20%削減。機械本体の高さを1435mmに抑えた。(7面)

ニプロ、ベトナム2社と提携
高品質医薬品ニーズ対応
ニプロは、ベトナムの国営最大手医薬品卸会社コドゥファと同国大手医薬品メーカーのメコファの2社と業務提携した。日本で製造する高品質医薬品のニーズの高まりに応える。(10面)

丸一鋼管、インド・メキシコ増設
車用鋼管 / 倍増月2000ト
丸一鋼管は、自動車用鋼管を生産するメキシコ工場とインド工場を増設する。それぞれ月産1000トを同2000トに倍増する。現地進出の日系自動車メーカーの需要増加に対応する。(11面)

「ハラル」企業と商談会
JTBコーポレートセールス
JTBコーポレートセールスは、マレーシア・クアラルンプールで「ハラル」の商品製造会社や工業団地との商談会を2014年2月17日に開く。食品や医薬品のメーカーなどが対象。(12面)

11月13日(水)
ツガミ、インドで旋盤・研削盤
4輪・2輪車 / 現地部品メーカー向け
ツガミは、インドのチェンナイ工場を2014年1月からタレット旋盤と研削盤の量産を始める。4輪車や2輪車関連の現地部品メーカーの需要に対応。当初の生産規模は月産2030台を計画。(3面)

技術者、英・シンガポール駐在
三菱重工 / 開発の種を発掘
三菱重工は、英ロンドンとシンガポールに技術統括本部の技術者を駐在させた。各2人、2年間。海外の大学や研究所などと連携を強め、基礎研究や、事業に直結する開発の種を発掘。(7面)

インドでポンプ延命改修
西島製作所 / 火力発電所など
西島製作所は、インドで既設の他社製ポンプを省エネルギー化する提案営業に乗り出す。火力発電所などで稼働中のポンプに独自の最新技術で性能改善や延命改修。プラント全体を効率化。(9面)

紙おむつ原料、技術供与
三菱化学 / 韓国に年産能力16万ト設備
三菱化学が、紙おむつに使う吸水性樹脂原料アクリル酸とアクリル酸エステルの生産技術を韓国の化学大手SKGCに供与で交渉に入った。蔚山広域市に年産能力16万トの設備を新設。(16面)

11月14日(木)
インドネシアに営業所
日本コンベヤ / 大型で受注目指す
日本コンベヤは、インドネシアに営業事務所を新設する。土木や資源の搬送に使う大型コンベヤへの受注につなげるほか、設置を委託する企業との連携を深め、サービス力を高める。(3面)

東伸、インドネシア増強
自動車部品 / 日系向け
東伸は、自動車部品を手がけるインドネシア工場を増強する。1100トのフィンランディング用プレス機などを導入。日系自動車メーカーの現地需要に対応。タイへの輸出拠点としても。(7面)

新東工業、タイ新工場
ショットプラスト装置、現地化
新東工業は、タイのロジャナ工業団地内に新工場を建設した。東南アジアには日本から製品を輸出していた。ショットプラスト装置をはじめ集塵装置などの小型装置を現地生産する。(8面)

インド財閥系を買収
椿本チエイン / マテハン装置
椿本チエインは、インドの財閥系企業MECPを買収する。製品組み立てなどを始める。インドは自動車工場の投資が活発なことから、マテハン装置など設備関連の需要が増えている。(9面)

YAGレーザー溶接機で提携
エイム / 台湾の商社と代理店契約
エイムは、YAGレーザー溶接機を、アジア市場で販売する。台湾の機械商社と販売代理店契約を結んだ。商社のアジア拠点網を活用し、市場を開拓する。中国7カ所などに拠点がある。(9面)

埼玉県が発展途上国支援
JICAと連携 / 県内企業アジア開拓
埼玉県は、国際協力機構(JICA)と発展途上国支援などに関する連携協定を結ぶ。県内企業によるアジア市場開拓につなげるのが目的。アジアなどで支援プロジェクトを展開する。(27面)

11月15日(金)
三井住友銀、カンボジアで提携
日系進出、期間を短縮
三井住友銀行は、カンボジア最大の工業団地を運営するプノンベン経済特別区社と、日系企業に対する進出支援業務で提携。一貫した支援サービスで進出までの期間を短縮する。(1面)

インドネシア・フィリピン進出
TMJ / コールセンター運営
TMJは、インドネシアとフィリピンに進出する。現地企業とコールセンター運営と営業で協業し、東南アジアのビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)需要を開拓する。(3面)

北川鉄工所、タイ増産
鍛造・加工ライン / 月産700ト
北川鉄工所は、タイ工場で生産設備を増強する。工場建屋を建設し、鍛造ラインと加工ラインを増設する。投資額は20億円で、月産700ト体制にする。自動車や農業機械用の鍛鉄品を製造。(7面)

比ニッケル生産ズレ込み
住友鉱山 / 損失20億円
住友金属鉱山は、フィリピンのタガニート・ニッケルプロジェクトの本格生産が遅れていることを明らかにした。今秋の予定だったが、12月のフル操業を目指す。損失は20億円程度。(13面)

ベトナム浄水場プロに技術協力
広島県 / ハナム省
広島県は、ベトナム・ハナム省と「環境関連産業分野における協力に関する覚書」を結んだ。同省の浄水場などの水関連プロジェクトに、技術面から最大限、協力する。(24面)

TELOP
モンゴル・印のIT企業と提携
野村総研(4日7面)
台湾で福利厚生サービス
伊藤忠などが合併(4日12面)
マレーシアに物流施設
日立物流(4日12面)

マレーシアでバイオマス燃料
JFE商事(5日11面)
インドネシアで車リース
三菱UFJリース(6日19面)
マレーシア集合工場の販売契約
NKGBS(7日3面)

日精樹脂、インドに販社
日系の車関連企業に照準(7日9面)
台湾企業に優先交渉権
UMN / インフラワクチン(7日12面)
吉野家、カンボジア出店
アンコール遺跡観光拠点(7日14面)

東商會頭、政府間で解決を
韓国の旧民間人徴用工(8日3面)
ベトナムでメッキ鋼板設備受注
新日鉄住金エージ(8日17面)
インドネシアでATM事業
セブン銀行(12日17面)

日印原子力協定、柔軟に合意形成
外相会談(13日3面)
韓国・済州空港と提携
福岡空港ビル(13日26面)
カンボジア商銀に出資
オリックス(14日17面)

ひと
時の流れの違いに...
ベトナムに現地最大手の医療関連製品卸と合併会社を設立した。「計画が遅れるなど商習慣や時間の流れの違いに戸惑った」と、アルフレッサHD取締役専務執行役員の三宅俊一さん。「まだまだ一歩目。じっくり時間を掛けてしっかりと事業に育てていきたい」(14日=12面)